

2021年度 第1四半期 決算概要

2021年8月12日

沖電気工業株式会社

ご説明のポイント

■ 2021年度1Q業績

- ✓ 売上高・営業利益はサプライチェーン影響を除いて概ね計画通り。
- ✓ 構造改革費用（欧米販社）を特別損失に計上。

■ 2021年度通期見通し

（外部環境）

- ✓ 海外の新興国においてコロナ影響は依然残る。
- ✓ サプライチェーン影響による半導体他部材調達リスクが顕在化。
- ✓ 製造業回復にともない、特にF A・半導体製造装置市場の好調続く。

（業績予想）

- ✓ 期初計画から変更無し。
- ✓ 部材調達リスクに対しては生産調整等によりコントロール、費用対策も含め影響の抑制を図る。

2021年度 第1四半期 決算の概要

- 売上高はコンポーネント&プラットフォームで増収となるもののソリューションシステムの減収により全体として前年比減収。
- 営業利益は減収影響大きく前年比減益。
- 為替差益により営業外収支は改善、欧米販社の構造改革費用を特別損失計上。

(単位：億円)	21年度 実績	20年度 実績	前年比
売上高	799	814	△15
営業損益	△30	△11	△19
経常損益	△28	△21	△7
(親会社株主に帰属する) 四半期純損益	△38	△33	△5
USD平均レート (円)	109.5	107.6	+1.9
EUR平均レート (円)	132.0	118.5	+13.5

2021年度 第1四半期 セグメント別売上高/営業利益

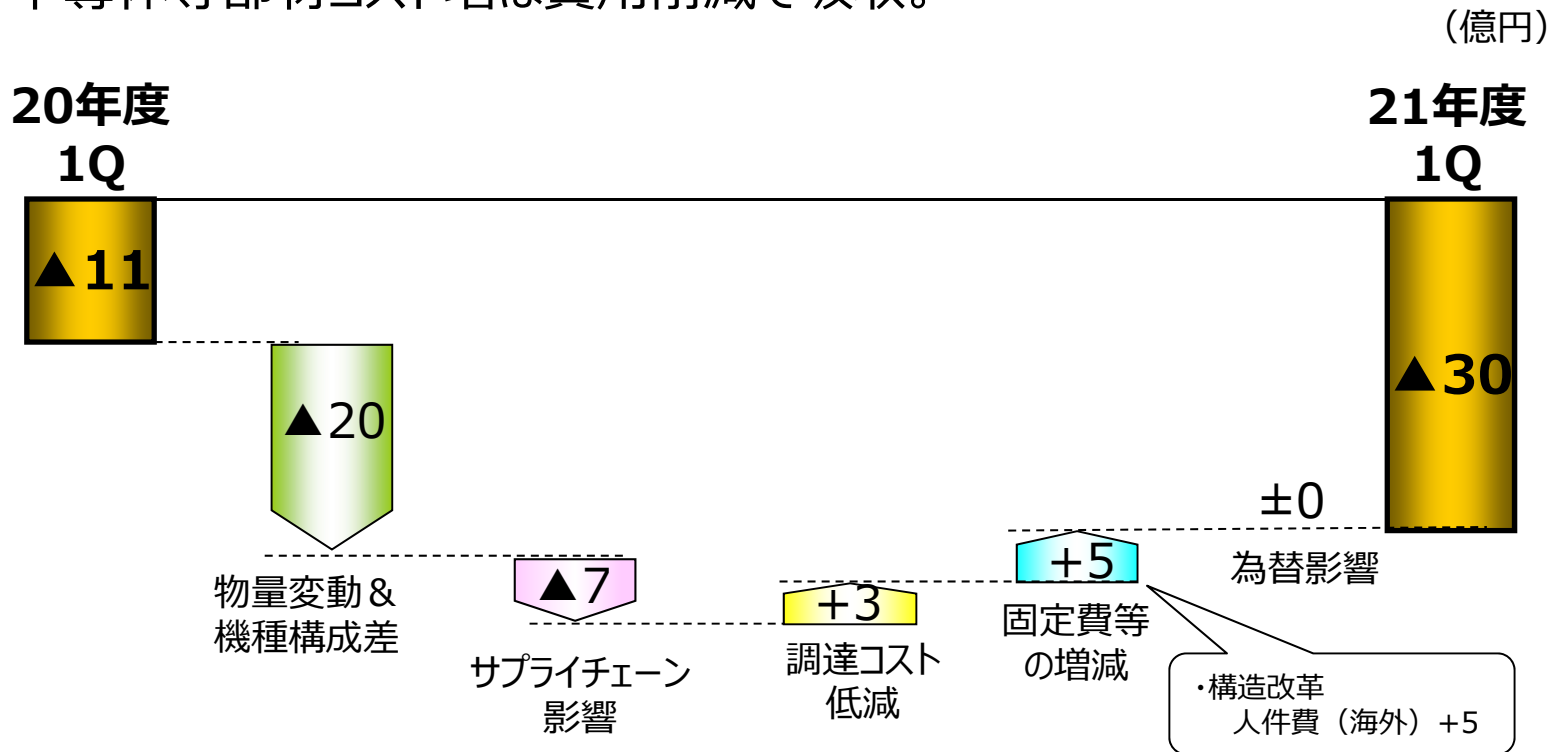
(単位：億円)

売上高	21年度 実績	20年度 実績	前年比
ソリューション システム	339	396	△57
コンポーネント & プラットフォーム	459	416	+43
その他	1	2	△1
合計	799	814	△15

営業利益	21年度 実績	20年度 実績	前年比
ソリューション システム	△1	18	△19
コンポーネント & プラットフォーム	△16	△16	±0
その他	0	0	±0
消去・本社費	△13	△12	△1
合計	△30	△11	△19

2021年度 第1四半期 営業利益の変動要因

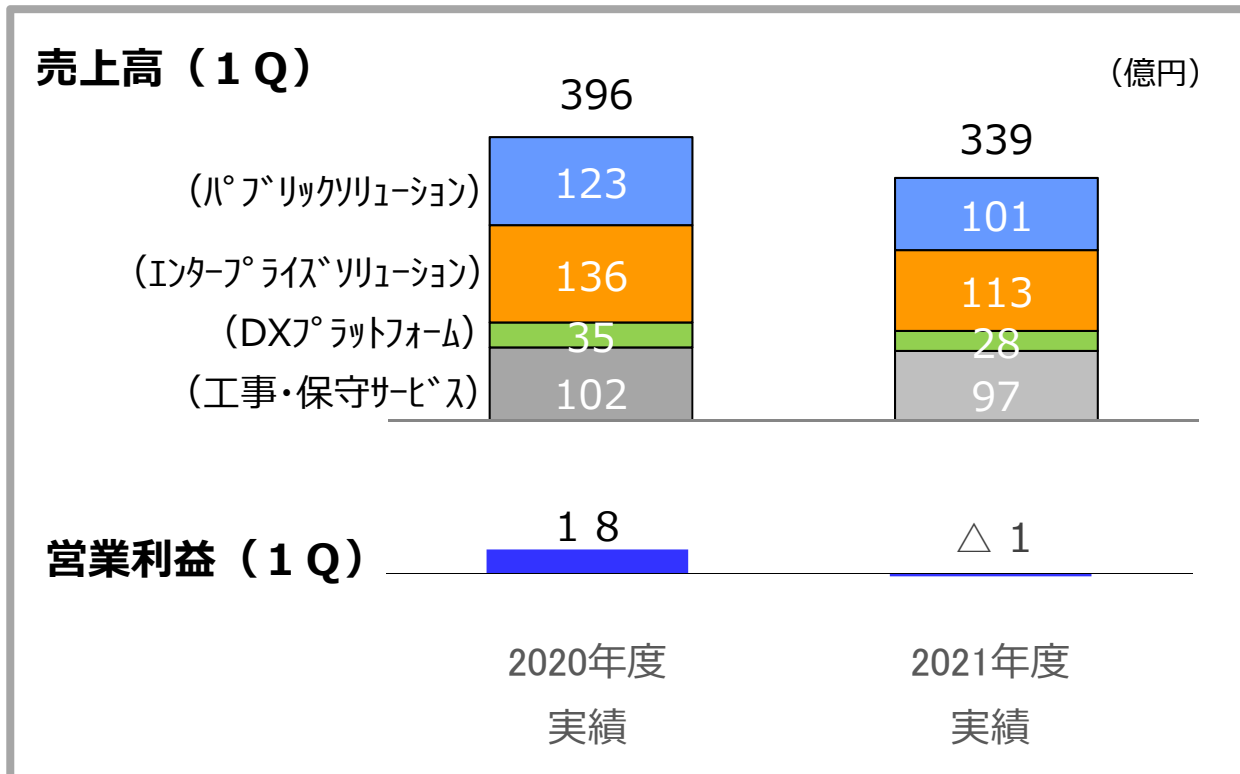
- 物量変動は主にソリューションシステムによる影響。
- コンポーネント&プラットフォームは物量増によるプラスがあるものの自動機の先行投資等コスト増もあり相殺。
- 半導体等部材コスト増は費用削減で吸収。



ソリューションシステム事業 概況

■ 1Q実績

- ・サプライチェーン影響を除けば概ね計画通り。
- ・DX領域売上は年間計画に向けて順調に積上（1Q売上 62億円）。



■ パブリックソリューション

- ・道路（ETC/VICS）、航空管制、防災、消防
- ・中央官庁業務システム、政府統計システム
- ・防衛システム（水中音響/情報）
- ・インフラモニタリング

■ エンタープライズソリューション

- ・キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G
- ・金融営業店システム、事務集中システム
- ・鉄道発券システム、空港チェックインシステム
- ・製造システム（ERP/IoT）

■ DXプラットフォーム(プロダクト/サービス)

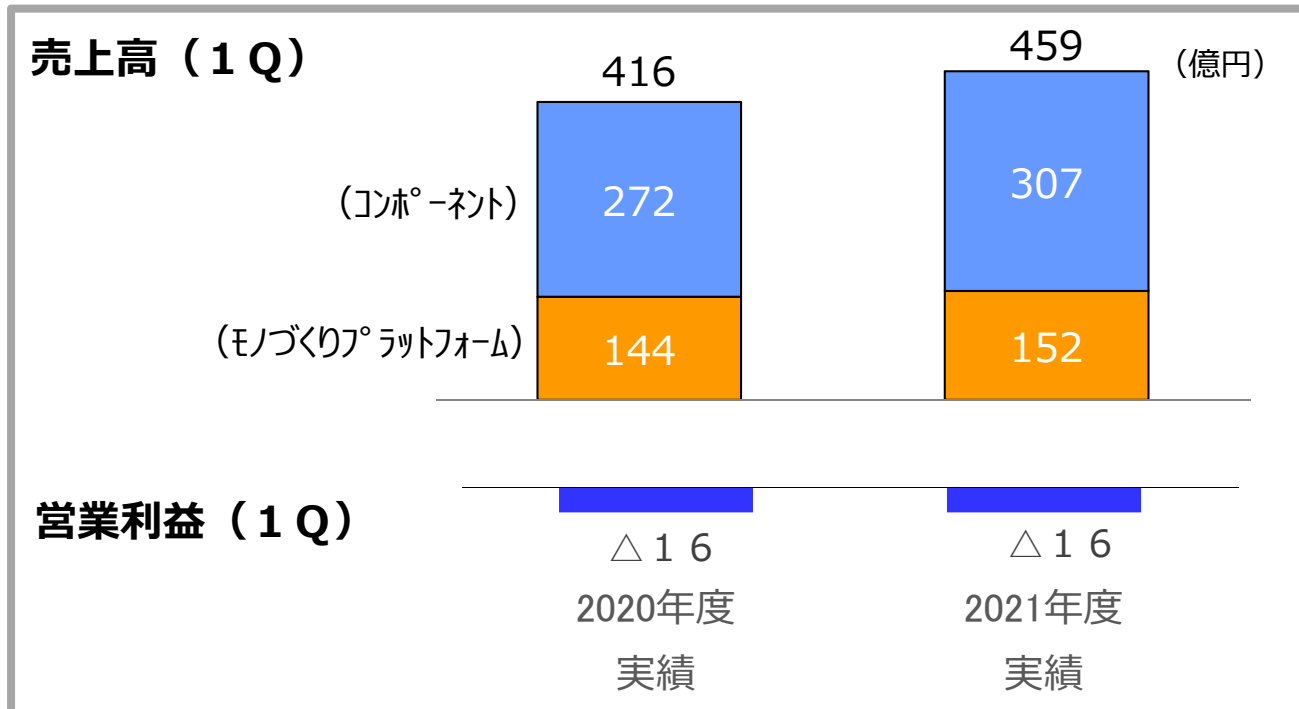
- ・AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW
- ・PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター
- ・クラウドサービス

■ 工事・保守サービス

コンポーネント&プラットフォーム事業 概況

■ 1Q実績

- ・モノづくりプラットフォームはFA/半導体製造装置向け他好調続く。
- ・コンポーネントは欧米の経済回復によるプリンター消耗品需要増、新興国では依然コロナ影響が残る。半導体等サプライチェーン影響があるものの増収。
- ・収益面では自動機事業で先行投資負担があるものの、情報機器事業及びモノづくりプラットフォームでカバー。



2021年度 第1四半期 B/Sの概要

- 各資産・負債の構成に大きな変化無、総資産は圧縮。
- 自己資本比率は0.3ポイント減少。

(単位：億円)	21年 6月	21年 3月	前年度末比
流動資産	2,051	2,222	△171
固定資産	1,512	1,510	+2
資産の部	3,562	3,732	△170
流動負債	1,471	1,541	△70
固定負債	1,021	1,058	△37
負債の部	2,492	2,599	△107
自己資本	1,068	1,130	△62
その他	2	3	△1
純資産	1,070	1,133	△63
負債及び純資産合計	3,562	3,732	△170
自己資本比率(%)	30.0	30.3	△0.3
DEレシオ(倍)	0.7	0.7	±0

2021年度 第1四半期 キャッシュフローの概要

■ フリー・キャッシュフローは運転資本良化により改善。

(単位：億円)	21年度 実績	20年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	214	160	+54
II 投資キャッシュフロー	△43	△35	△8
フリー・キャッシュフロー(I + II)	171	125	+46
III 財務キャッシュフロー	△66	△68	+2
現金および現金同等物の残高	525	521	+4
固定資産取得額	46	25	+21
減価償却費	31	30	+1

2021年度 通期業績予想

- 期初計画から変更無し。

前提為替レート
USD : 105円
EUR : 120円

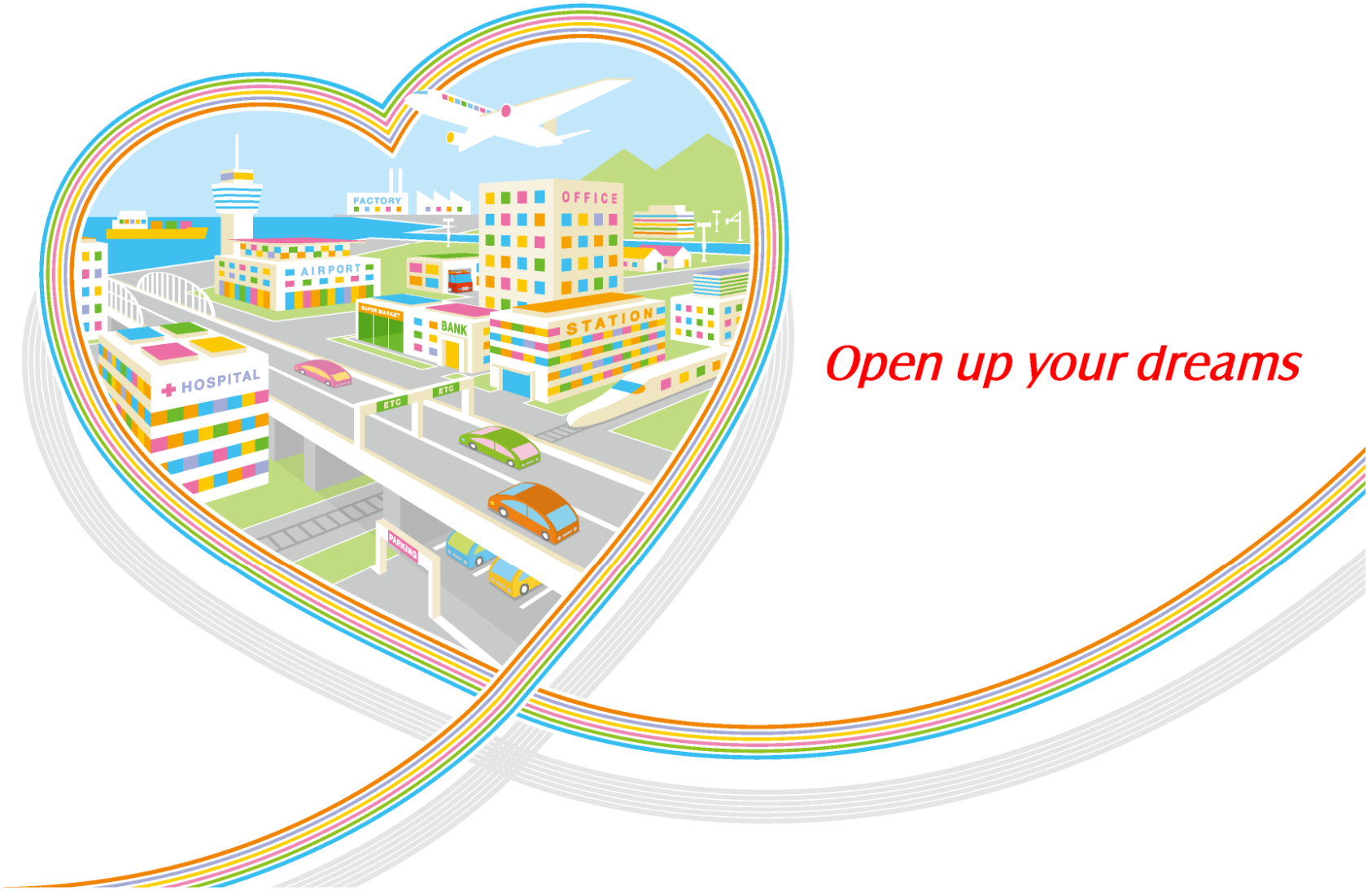
(単位：億円)	21年度 予想	20年度 実績	前年比
ソリューション システム	売上高 1,985 営業利益 165	1,908 163	77 2
コンポーネント& プラットフォーム	売上高 2,010 営業利益 25	2,015 △4	△5 29
その他	売上高 5 営業利益 0	6 △1	△1 +1
消去・本社費	営業利益 △70	△64	△6
連結合計	売上高 4,000	3,929	71
	営業利益 120	95	25
	経常利益 120	94	26
	当期純利益 35	△2	37

※2020年度実績はリスタート後

ご注意

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。



Open up your dreams